

近畿学校保健学会通信

No.111

平成17年6月21日発行
近畿学校保健学会事務局
〒657-5801 神戸市灘区鶴甲3-11
神戸大学発達科学部石川研究室内
TEL&FAX 078-803-7737
kinkigakkohokengakkai@yahoo.co.jp
振替口座 00940-5-181826

目次

名誉会員 追悼	・・・・・・・・ 2
第52回近畿学校保健学会ご案内及びプログラム	・・・・・・・・ 3
平成17年度第1回近畿学校保健学会幹事会議事録	・・・・・・・・ 12

お詫び

前回、3月に送付いたしました近畿学校保健学会通信は、「No.200」となっていました。正しくは「No.110」でした。慎んでお詫び申し上げますとともに、ご訂正くださいますようよろしくお願い致します。

名誉会員 追悼

故 北村李軒先生

平成 16(2004)年 12 月 8 日、急性心筋梗塞にてご逝去されました。82 歳でした。

先生は大正 11(1922)年 9 月 4 日、滋賀県でお生まれになりました。

昭和 21 年 9 月京都帝国大学医学部卒業、同 22 年医学部副手、同 24 年第 2 回医師国家試験合格、京都大学内科第 1 講座助手、同 27 年講師と進まれ、同 28 年 10 月医学博士、同 29 年京都大学保健診療所併任となられ、以来、助教授、教授と昇任されますが、昭和 45 年 9 月に京都大学保健診療所長、同 50 年京都大学保健管理センター所長を歴任され、内科医として大学の保健管理業務にたずさわるとともに、学校保健の研究に情熱を注がれ、昭和 61(1986)年停年退官、同年 4 月京都大学名誉教授になりました。

その後は、武田病院検診センター所長(平成 10 年より名誉所長)となられ、検診のかたわら、日本 WHO 協会常務理事、平成 14(2002)年よりは同協会副会長としても、社会に貢献されました。

近畿学校保健学会では、当学会発足後 28 年での会則改正、幹事長による組織運営体制に移行する転換期に、第 29 回近畿学校保健学会会長として学会を担当されました。

また、京都大学では剣道部長もされ、剣道における体内環境への影響などの研究もされています。学内での研究会では筆者も共に勉強させて頂きました。去る 9 月には、たまたまお会いし、お話ししながら帰ったところでした。内科医としての先生の温顔が目に残ります。

謹んで、ご冥福をお祈りします。

故 川畑愛義先生

平成 17(2005)年 1 月 23 日、肺炎でご逝去されました。99 歳でした。

先生は明治 38(1905)年 5 月 8 日、鹿児島県でお生まれになりました。

昭和 6 年 3 月京都帝国大学医学部卒業、同年 9 月医学部衛生学教室助手、昭和 9 年 4 月京都市衛生試験所技師、昭和 12 年 7 月厚生省衛生局技官兼公衆衛生院講師、昭和 25 年 5 月京都大学教養部教授となられ、新制大学発足当初の大学教育における保健体育の教育研究に従事されることとなりました。主に保健教育を担当され、戦後の貧困な食料栄養や衛生状況のなかで、学生生徒の健康維持増進に意を注がれ、保健指導と保健研究に尽力され、独自の健康法を考案されるなど、意欲的に教育研究に当たられました。また、学会においては国際交流をはかるなど、先端的なご活躍をされました。

昭和 44(1969)年 3 月停年退官、同年 4 月京都大学名誉教授となられ、京都府衛生研究所所長の任につかれ、その後、日本生活医学研究所所長として研生活と著述の仕事が続けられ、長年にわたり社会貢献されました。

近畿学校保健学会では、草創期の昭和 33 年、第 5 回学会に京都大学医学部で三浦運一会長のもと幹事として尽力され、近畿学校保健学会事務所を受け持ち、昭和 39(1964)年 2 月には近畿学校保健学会通信第 1 号を発刊し、第 11 回近畿学校保健学会では会長として本学会の発展に貢献されました。

昨秋、京都大学での名誉教授の集まりにお出でになることはありませんでしたが、お葉書で挨拶されていました。先生の長寿は、私たちに希望を与えてくださっていましたが、今年 5 月での満 100 歳を前にして、天寿を全うされました。

ここに、語り尽くせぬ、生前のご業績と思い出の一端を述べて、先生を偲び、謹んで、ご冥福をお祈りいたします。

(八木 保)

第52回近畿学校保健学会案内

(下記のように学会を開催します。関心のある方はどなたでも参加できます。)

主催 近畿学校保健学会
後援 和歌山県教育委員会、和歌山市教育委員会
協賛 和歌山県医師会、和歌山県歯科医師会、和歌山県薬剤師会
和歌山市医師会

学 会 長 宮西照夫 (和歌山大学保健管理センター長)

学会事務局長 富田耕太郎 (和歌山大学助教授)

〒640-8510 和歌山市栄谷930

和歌山大学経済学部

TEL 073-457-7786

FAX 073-457-7787

E-mail: kgakuho52@eco.wakayama-u.ac.jp

銀行口座

紀陽銀行 紀三井寺支店

普通預金 口座番号 614206

第52回近畿学校保健学会 代表 宮西 照夫

日 時 平成17年 7月30日 (土) 9:00~17:30

会 場 県民交流プラザ 和歌山ビッグ愛
大ホールおよび会議室
〒640-8319 和歌山市手平2丁目1-2
Tel. 073-435-5200

会 費 (講演集代を含む)

正 会 員 : 年会費	3,000円 (既納者は不要)
当日会員 : 参加費	2,000円 (学生・院生会員 1,000円)
懇 親 会 : 会 費	5,000円予定 (自由参加)

運営についてのご案内

受付時間・場所

午前 9:00～ 1 F 大ホール前

受付カウンターの区分

- ① 評議員（年会費 3,000円）
評議員会出席の方は、受付時に昼食代 1,000円を別途お支払いの上、弁当引換券をお受け取り下さい（お弁当は評議員会会場に準備しています）。
- ② 正会員（年会費 3,000円）
 - ・ 会費既納者：受付で府県名、氏名をお申し出頂き、名札をお受け取り下さい。
 - ・ 会費未納者：受付で記入票を受け取り、氏名、住所、所属をご記入の上、会費をお納め下さい。
- ③ 当日会員（一般 2,000円、学生・院生 1,000円）
 - ・ 受付で記入票を受け取り、必要事項をご記入の上、参加費をお納め下さい。
- ④ 新規入会希望者（年会費 3,000円）
 - ・ 受付で入会申込用紙を受け取り、必要事項をご記入の上、会費をお納め下さい。
- ⑤ 座長、講演会、シンポジウム：受付にお申し出下さい。

※ 懇親会（会費5,000円予定）：当日も受け付けております。受付にお申し出下さい。

※ 名札には氏名及び所属を各自で記入して下さい。名札ホルダーは最後に回収箱へご返却下さい。

一般演題発表者の方へ

- (1) 前演者の口演が始まると同時に、各会場前方の次演者席にご着席下さい。
- (2) 口演時間 8分、討論時間 5分です。発表開始 7分後に1鈴、8分で2鈴を鳴らしますので、時間厳守をお願いします。
※時間が延長しますと座長が発表の打ち切りを指示します。ご協力をお願いします。
- (3) スライド、OHP、ビデオ等は使えません。
- (4) 配布資料がある場合は、発表30分前までに 100部各会場の受付に提出して下さい。

座長の先生方へ

- (1) 前座長の登壇後、前方の次座長席に着席下さい。
- (2) 受け持ち時間内の進行は一任しますが、1題あたり、13分以内で進行されるようお願いします。
- (3) 恒例により、後日「学会通信」用の座長のまとめをお願いします。締め切りは 8月 31日です。

懇親会参加者の皆様へ

懇親会場は、和歌山県勤労福祉会館 プラザホープ 4Fホール（会場案内図をご参照下さい）です。18時開始予定です。多数の方々のご参加をお待ちしております。

※和歌山県勤労福祉会館 プラザホープ
〒640-8317 和歌山市北出島1丁目5番47号
TEL (073) 425-3335 (代)

手荷物について

手荷物預かりのサービスは行いませんのでご了解下さい。

駐車場

和歌山ビッグ愛には駐車場がありますが有料になります。
なお、駐車場内での事故については一切責任を負いませんのでご了解下さい。

会場案内図

※ 会場への交通機関

・JR和歌山駅から

徒歩 【約20分】

バス利用 【約5分】

①番線のりば 新手平經由海南藤白浜行き 又はマリナシティ、又は医大病院行き
<鳴滝団地行きを除く>
『北出島』停留所下車すぐ

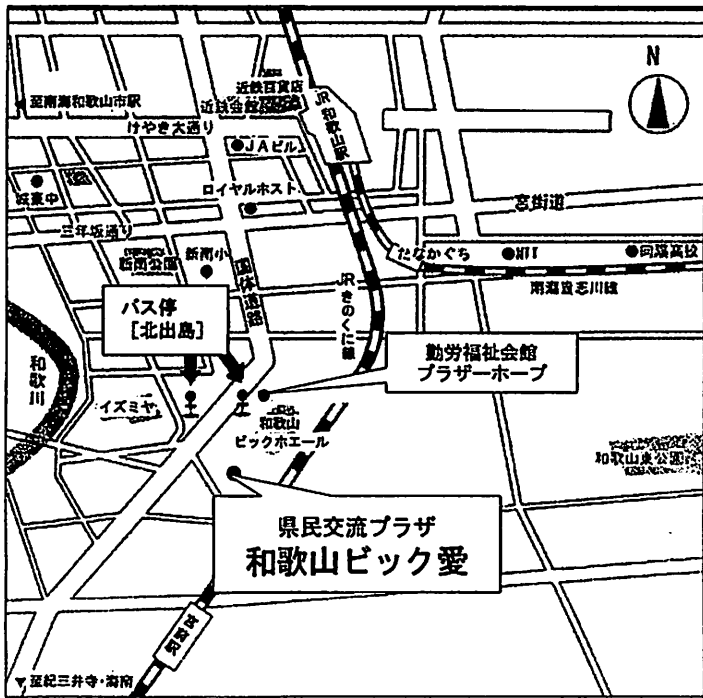
・JR宮前駅から

徒歩（遊歩道） 【約12分】

・南海和歌山市駅から

バス利用 【約20分】

⑤番線のりば プラクリ丁・和歌山駅經由海南藤白浜行き
又はマリナシティ、又は医大病院行き 『北出島』停留所下車すぐ



会場索引

1. 共通行事

受付 (9:00~)	—————	1 F 大ホール前
一般演題発表 (9:30~12:00)		
A会場	—————	1 F 大ホール
B会場	—————	2 F 204会議室
C会場	—————	5 F 501会議室
総会 (13:15~14:00)	—————	大ホール
特別講演 (14:00~14:50)	—————	大ホール
学会長講演 (15:00~15:30)	—————	大ホール
シンポジウム (15:30~17:00)	—————	大ホール

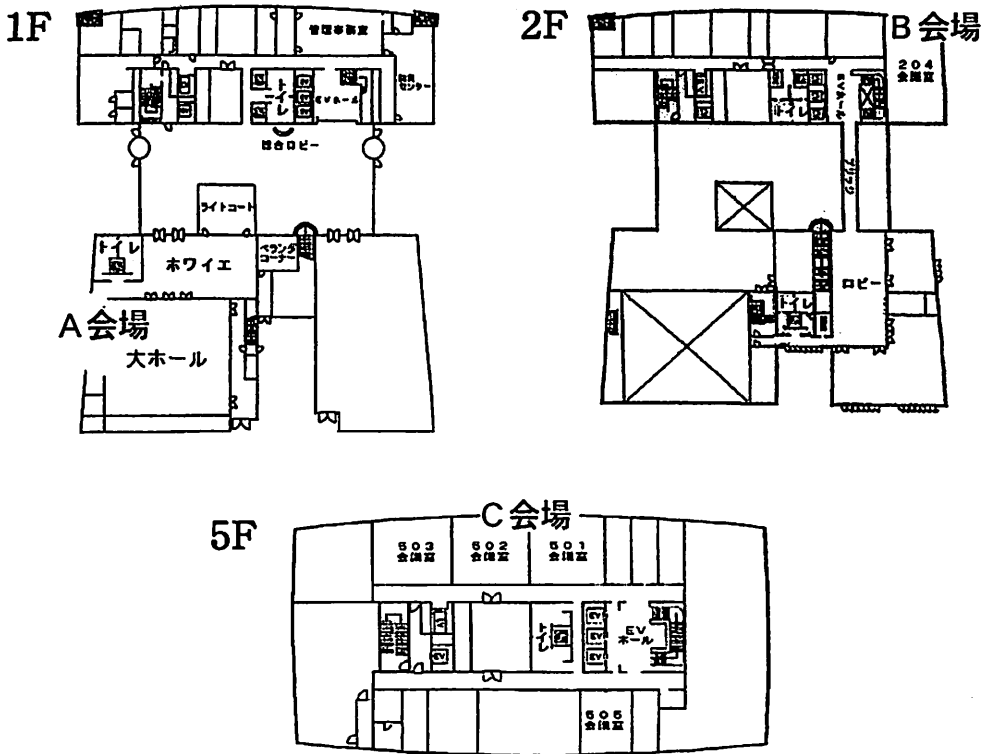
2. 評議員会

昼食会および議事 (12:05~13:00) ——— 5 F 501会議室

3. 事務局控室

————— 5 F 505会議室

【会場見取り図】



日 程

9:00	受付開始 受付場所 9:00～ 1 F 大ホール
9:30	一般演題発表 研究発表・実践発表 A会場 (1 F 大ホール) B会場 (2 F 204会議室) C会場 (5 F 501会議室)
12:00	
12:05	評議員会 (5 F 501会議室)
13:00	
13:15	総会 (1 F 大ホール)
14:00	
15:00	特別講演 (1 F 大ホール) テーマ 「保健学習の現状と育てたい学力」 座長 和歌山県立医科大学名誉教授 武田眞太郎 講師 大阪教育大学教授 白石龍生
15:30	学会長講演 (1 F 大ホール) テーマ 「和歌山大学におけるひきこもり回復支援プロジェクト」 座長 和歌山県立医科大学教授 宮下和久 講師 和歌山大学保健管理センター長 宮西照夫
17:30	シンポジウム (1 F 大ホール) テーマ 「不登校・ひきこもり・そして、ニート」 座長 和歌山大学保健管理センター長 宮西照夫 シンポジスト ・朝日新聞大阪本社社会部記者 尾崎文康 「ひきこもり取材からみえてきたこと」 ・和歌山市立楠見西小学校養護教諭 秋吉春美 「保健室登校児と関わって」 ・社会福祉法人一麦会麦の郷 岩出地域生活支援センター施設長 野中泰寛 「子どもたちが、豊かな青年期をむかえるために、今、何が必要なのか」 ・国保日高総合病院精神神経科臨床心理士 石橋 玄 「ひきこもりが遷延化する社会と個人」 ・和歌山県精神保健福祉センター主査 尾崎則子 「ひきこもり支援ネットワークづくりの取り組みから」

プログラム

一般演題（口演8分・討論5分） 9:30～12:00

A会場（1階・大ホール）

心の健康(1) (9:30～10:09) 座長 中島紀生(和歌山県教育庁)

A-1 小中学生の心の健康と生活習慣について

○松浦英夫、和坂絹江、永井尚子(和歌山市保健所)、竹下達也(和歌山医大・公衆衛生)

A-2 「学生の学習支援システムの構築」ー子どもの心を支援できる養護教諭をめざしてー

(3)電子メールによる不登校児童生徒の支援

○大川尚子、野谷昌子、佐藤秀子、森川英子(関西女子短大)、山本咲子(前関西女子短大)

A-3 「学生の学習支援システムの構築」ー子どもの心を支援できる養護教諭をめざしてー

(4)保健所との連携

○野谷昌子、大川尚子、佐藤秀子、森川英子(関西女子短大)、山本咲子(前関西女子短大)

心の健康(2) (10:09～10:48) 座長 楠本久美子(四天王寺国際仏教大)

A-4 いのちの教育(Ⅱ報)ー青年期の宗教的活動と死生観ー

○佐伯洋子(大阪明浄女子短大)、高山昌子(太成学院大)、高内正子(聖和大)、谷 祝子(神戸女学院大)、中神 勝(京都ノートルダム女子大)

A-5 いのちの教育(Ⅲ報)ー青年期の死の認識と不安尺度ー

○高山昌子(太成学院大)、佐伯洋子(大阪明浄女子短大)、高内正子(聖和大)、谷 祝子(神戸女学院大)、中神 勝(京都ノートルダム女子大)

A-6 保健室を訪れる児童生徒の手首切傷(リストカット)についてー養護教諭による調査よりー

○北村陽英(奈良教育大・学校保健)

心の健康(3) (10:48～11:27) 座長 北村陽英(奈良教育大)

A-7 妊娠期の喫煙と児童の注意欠陥多動性障害

○井関康仁、川嶋秀治、宇本麻衣子、吉益光一、宮下和久(和歌山医大・衛生)

A-8 わすれられた子どもにさせない支援と私の想い

○里中麻希(麦の郷ハートフルハウス)

A-9 学校保健とメンタルヘルスクエアの連携についての一考察ー小さな集まりから広がりをー

○栗田直嗣(和歌山県田辺保健所)

地域保健・学校保健 (11:27～11:53) 座長 後藤 章(大阪教育大)

A-10 地域保健と学校保健の連携を考えるー長期療養児支援ボランティア育成モデル事業を通してー

○前馬理恵、柳川敏彦(和歌山医大・保健看護学部)、宮下和久(和歌山医大・衛生)

A-11 高齢者介護の保健教育における位置づけ

○藤原寛(京都府立医大・小児科)、井上文夫(京都教育大体育学科)

生活習慣(1)(9:30~10:09) 座長 青木京子(和歌山市教育委員会)

- B-12 中学生の生活習慣確立に向けて「総合的な学習」による指導の効果(第3報)
○内海みよ子、辻久美子、森岡郁晴、有田幹雄(和歌山医大保健看護学部)、五十嵐裕子(九州女子短大)、白石龍生(大阪教育大)、宮井信行、宮下和久、武田眞太郎(和歌山医大・衛生)
- B-13 短大生の生活習慣に関する研究—入学直後の実態調査からの一考察—
○上野奈初美(大阪成蹊短大)、白石龍生(大阪教育大)
- B-14 大学生における非観血的貧血スクリーニングと生活習慣との関連
○松田紘一(京都教育大大学院)、井上文夫、寺田光世(京都教育大体育学科)

生活習慣(2)(10:09~10:48) 座長 森岡郁晴(和歌山県立医大)

- B-15 小児肥満予防のため生活習慣を改善させる試み
○乾実希子、西島治子、大矢紀昭(滋賀医大・地域生活看護学)
- B-16 学齢期小児における微量栄養成分摂取状況についての研究
○川下裕子、下山拓也、永井純子、有吉綾子、西岡伸紀(兵庫教育大)、吉本佐雅子(鳴門教育大)、勝野眞吾(兵庫教育大)
- B-17 健康教育を目的とした簡易な栄養調査と調査対象学生の栄養に対する認識(その4)
○森下里枝、田丸倫子、後藤章(大阪教育大保健体育教育)

健康教育(10:48~11:14) 座長 津田謹輔(京大)

- B-18 学校を基盤とした健康教育プログラムの継続的実施要因—アメリカの介入研究(CATCH Program)から—
○永井純子、川下裕子、下山拓也、有吉綾子、西岡伸紀(兵庫教育大)、吉本佐雅子(鳴門教育大)、勝野眞吾(兵庫教育大)
- B-19 学校教育活動全体を通じた健康教育の実施の促進に関する研究—英国の Personal, Social and Health Education (PSHE) の検討から—
○森脇裕美子(兵庫教育大)、石川哲也(神戸大)、永井純子(兵庫教育大)、大川尚子(関西女子短大)、川下裕子、西岡伸紀、勝野眞吾(兵庫教育大)

学校安全(11:14~11:53) 座長 林 正(滋賀大)

- B-20 保育所・幼稚園管理下における障害事例の分析—1989年から10年間の事例について—
○長谷川ちゆ子(湊川短大)、松嶋紀子(大阪教育大)、西岡伸紀、勝野眞吾(兵庫教育大)
- B-21 草津市学校安全対策評価システムの開発(1):安全対策に関する一般教員の意識
○西岡伸紀(兵庫教育大大学院)、谷川尚巳((財)滋賀県体育協会)、高田毅(草津市教育委員会)、勝野眞吾、永井純子、森脇裕美子(兵庫教育大大学院)、石川哲也、川畑徹朗(神戸大)、長谷川ちゆ子(湊川短大)、大川尚子(関西女子短大)
- B-22 草津市学校安全対策評価システムの開発(2):安全対策に関する学校管理職の意識
○西岡伸紀(兵庫教育大大学院)、谷川尚巳((財)滋賀県体育協会)、高田毅(草津市教育委員会)、勝野眞吾、永井純子、森脇裕美子(兵庫教育大大学院)、石川哲也、川畑徹朗(神戸大)、長谷川ちゆ子(湊川短大)、大川尚子(関西女子短大)

健康評価 (9:30~10:09) 座長 猪尾和弘 (和歌山大学名誉教授)

- C-23 若年者の脈波伝播速度に影響を及ぼす要因の検討
○宮井信行(和歌山医大・衛生)、内海みよ子(和歌山医大・保健看護学部)、五十嵐裕子(九州女子短大)、北口和美(園田学園女子大)、冨田耕太郎(和歌山大)、森岡郁晴、有田幹雄(和歌山医大・保健看護学部)、白石龍生(大阪教育大)、武田眞太郎、宮下和久(和歌山医大・衛生)
- C-24 若年者の血圧に及ぼす肥満、インスリン抵抗性、レプチンの影響について
○江尻加名子、吉田朱里、吉田 円、宮井信行、南 佳宏、寺田和史、前島 幸、吉益光一(和歌山医大・衛生)、五十嵐裕子(九州女子短大)、武田眞太郎、宮下和久(和歌山医大・衛生)
- C-25 脈派速度による小児の動脈硬化の評価について
○井上文夫、松田紘一、藤原寛(京都教育大体育学科、京都府立医大小児科)

保健活動・環境管理・歴史(1) (10:09~10:35) 座長 出井梨枝 (園田学園女子大)

- C-26 保健だよりの果たす役割と機能について
○山本鮎実(栗東市立大宝小学校)、泊祐子(岐阜県立大)、西島治子(滋賀医大)
- C-27 保健室利用に見る高校生の問題傾向
○松本廣子(大阪府立門真西高校)、松嶋紀子(大阪教育大)

保健活動・環境管理・歴史(2) (10:35~11:14) 座長 勝野眞吾 (兵庫教育大)

- C-28 小学校における学校飼育動物に関する飼育状況調査
○立石明里、春木英子、石丸昌子(大阪コミュニケーションアート専門学校)、石丸邦仁(和歌山医大・衛生)、桜井富士朗(帝京科学大学)
- C-29 和歌山市内の小学校における学校飼育動物に関する飼育状況とズーノシス予防策の一例
○石丸邦仁(和歌山医大・衛生)、石丸昌子(和歌山県獣医師会・セントラル動物病院)、青木京子(和歌山市教育委員会保健給食管理課)
- C-30 戦前の女性運動史における学校看護婦職制運動の位置
○杉浦守邦(蘇生会総合病院)

平成 17 年度第 1 回近畿学校保健学会幹事会議事録

日時 平成 17 年 6 月 4 日（土曜日） 13 時 30 分から

場所 ビッグ愛（和歌山）501 会議室

出席者：石川哲也，板持紘子，井上文夫，大橋郁代，勝野眞吾，後藤章，
武田眞太郎，林正，宮下和久，宮西昭夫，森岡郁晴，八木保，
山本公弘，山本信弘，横尾能範，（委任状 11 通）

議題

1 第 52 回近畿学校保健学会年次学会について

第 52 回近畿学校保健学会年次学会について宮西会長より報告

- (1) 学会発表におけるパワーポイント等の使用については、「今日の情勢から機器の使用を認めてはどうか」との意見が出され次期学会から使用できる方向で検討する。（次期幹事会で検討，決定する）
- (2) シンポジウムの一般公開について：今学会のシンポジウムを一般公開したいとの提案が宮西会長よりあり，参加費との関係などについて検討の結果，プライバシーの問題などに配慮しながら，学会としては積極的に公開（無料）をしていくことを決定した。
- (3) 年次学会のプログラムについて，了承された。

2 名誉会員の推薦について

近藤文子（兵庫県），虎谷良雄（和歌山県）の両氏の推薦が行われ，審議の後採決され，承認された。

3 平成 16 年度決算，平成 17 年度予算等について

資料に基づき，石川幹事長から平成 16 年度会務報告，平成 16 年度決算報告及び会計監査報告について説明され，審議の後了承された。続いて平成 17 年度予算案について説明が行われ，ホームページに関して記念誌掲載費と更新費を分けて記載することとされた。また，予算案の会費収入に関しては会員数である 321 名を基本することとされた。なお，収入確保については今後継続して審議することとされた。平成 16 年度，17 年度幹事及び評議員名簿について確認が行われ，最後に平成 17 年度近畿学校保健学会評議員会・総会議題が審議され，了承された。

4 次期開催県，会長

次期第 53 回年次学会を津田謹輔京都大学教授を学会長として京都府で開催することが提案され，了承された。

5 その他

幹事会終了後，学会場を視察した。